

## 事業報告書 ✓

(自令和2年11月1日 至令和3年10月31日) ✓

## 1 医療法人の概要

- (1) 名称 医療法人 絃慶会 ✓
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 ( ☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり )
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人  
☐ 出資限度額法人 ☒ その他
- ③ ☒ 基金制度採用 ☐ 基金制度不採用
- (2) 事務所の所在地 山口県周南市桜木一丁目8番19号
- (3) 設立認可年月日 平成27年10月27日
- (4) 設立登記年月日 平成27年11月 5日
- (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	伊東 慶治	伊東歯科医院管理者
理 事	伊東 淑恵	
同	伊東 絃世	
監 事	温品 章	
評 議 員	なし	

## 2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	なし		
診療所	伊東歯科医院	山口県周南市桜木一丁目8番19号	一般病床 0床 療養病床 0床
介護老人保健施設	なし		

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
なし		

- (3) 収益業務（社会医療法人又は特別医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考
なし		

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和2年12月31日	令和2年度決算の承認
〃	理事選任の承認
令和3年10月31日	令和2年度の事業計画及び収支予算の決定
〃	令和2年度の借入金額の最高限度額の決定
〃	令和2年度の理事及び監事報酬の決定
〃	令和2年度の理事報酬の配分の決定

(5) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した施設

なし

(6) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

なし

(7) その他

なし

様式 3 - 4

法人名 医療法人 絃慶会 ✓

※医療法人整理番号

所在地 山口県周南市桜木一丁目8番19号

財 産 目 録 ✓

( 令和3年10月31日現在 ) ✓

1. 資 産 額	71,699 千円 ✓
2. 負 債 額	46,621 千円 ✓
3. 純 資 産 額	25,078 千円 ✓

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	57,451 ✓
B 固 定 資 産	14,248 ✓
C 資 産 合 計 (A + B)	71,699 ✓
D 負 債 合 計	46,621 ✓
E 純 資 産 (C - D)	25,078 ✓

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 3 - 4

法人名

医療法人 紘慶会 /

※医療法人整理番号

所在地

山口県周南市桜木一丁目 8 番 1 9 号

貸 借 対 照 表 /  
(令和 3 年 1 0 月 3 1 日現在) /

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	57,451 /	I 流 動 負 債	8,309 /
II 固 定 資 産	14,248 /	II 固 定 負 債	38,312 /
1 有 形 固 定 資 産	14,248 /		
2 無 形 固 定 資 産		負 債 合 計	46,621 /
		純 資 産 の 部	
		科 目	金 額
		I 資 本 金	7,000 /
		II 資 本 剰 余 金	
		III 利 益 剰 余 金	18,078 /
		IV 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
		純 資 産 合 計	25,078 /
資 産 合 計	71,699 /	負 債 ・ 純 資 産 合 計	71,699 /

様式4-2

法人名医療法人 紘慶会

※医療法人整理番号

所在地山口県周南市桜木一丁目8番19号

損益計算書  
(自 令和 2年11月1日 至 令和 3年10月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	91,675
2 事業費用	90,130
本来業務事業利益	1,545
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	
2 事業費用	
附帯業務事業利益	
事業利益	1,545
II 事業外収益	2,597
III 事業外費用	77
経常利益	4,065
IV 特別利益	
V 特別損失	
税引前当期純利益	4,065
法人税等	911
当期純利益	3,154

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。  
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。